

報道関係者各位

株式会社 共立総合研究所

## 「2012年度 新入社員の意識調査(職業観)」

株式会社 共立総合研究所（岐阜県大垣市郭町 2-25 取締役社長 森秀嗣）は、標題の調査結果を取りまとめましたのでご案内します。

### 《要約》

#### 職業観について

今年度の新入社員像：

**「堅実で、自分自身に合った働き方」を求める！**

- 就職先の選択基準  
「業種・事業内容」を重視する傾向は変わらず
- 将来就きたい地位  
男性は「管理職志向」、女性は「スペシャリスト志向」
- 上司・先輩との人間関係  
再び「ほどほど派」が「積極派」を上回る
- 入社の際の不安  
男性は「業界知識・業務内容」、女性は「上司・先輩との人間関係」がトップに
- 初給与の使い道  
「家族に感謝」が5年連続のトップ

資料配布：大垣市政経済記者クラブ、名古屋金融記者クラブ

【本件に関する問合せ先：共立総合研究所 調査部（主任研究員）渡邊 剛 TEL 0584-74-2615】

## 調査概要

当社では、大垣共立銀行がお取引先企業の新入社員向けに開催している研修会の参加者を対象として「新入社員の意識調査」を実施している。今年も、例年と同じく「就職する際の選択基準」や「将来就きたい地位」等の質問を行った。

- (1) 調査対象：岐阜県・愛知県・三重県・滋賀県所在の企業 298 社の新入社員
- (2) 調査期間：2012 年 3 月 16 日～4 月 6 日
- (3) 調査方法：大垣共立銀行主催の新入社員研修会受講者(1,119 名)に無記名方式で実施
- (4) 有効回答者数：1,106 人（有効回答率 98.8%）
- (5) 回答者属性：

		全体	男性	女性
有効回答者数		1,106名	593名	513名
平均年齢		21.4歳	21.6歳	21.1歳
最終学歴	高校卒業	34.7%	33.1%	36.6%
	専門学校卒業	7.3%	7.8%	6.7%
	短期大学卒業	6.3%	1.7%	11.5%
	四年制大学卒業	46.8%	49.9%	43.2%
	その他	4.9%	7.5%	2.0%
居住地	岐阜県	49.5%	48.4%	50.8%
	愛知県	39.2%	39.7%	38.6%
	三重県	2.2%	2.2%	2.2%
	滋賀県	1.6%	2.0%	1.2%
	その他	7.5%	7.6%	7.3%
業種	建設業	7.8%	8.9%	6.5%
	製造業	40.3%	48.1%	31.3%
	卸売業, 小売業	18.0%	15.0%	21.3%
	医療・福祉	8.2%	3.8%	13.2%
	サービス業	11.7%	8.9%	14.8%
	その他	14.1%	15.2%	12.8%

# 「職業観について」

## (1) 就職先の選択基準

### ～「業種・事業内容」を重視する傾向は変わらず～

「入社を決めるにあたって何を重視しましたか（3つまで選択）」と尋ねたところ、1位は「業種・事業内容」（回答率67.6%）、2位は「雰囲気・イメージ」（同48.4%）、3位は「通勤時間」（同28.4%）となり、「業種・事業内容」を重視する傾向は変わっていない。

項目別では、「会社の安定性」（同22.1%）「給与・ボーナス」（同9.9%）との回答が減少した一方、「雰囲気・イメージ」「休日・勤務時間」（同19.8%）の回答は増加した（図表1）。

過去の推移から男女別にみると、男性では依然として、他の項目と比較して「業種・事業内容」（同69.5%）が高く支持され、過去最高となった。また、女性では「業種・事業内容」（同65.4%）がトップとなった。2位の「雰囲気・イメージ」（同54.1%）も伸びており、過去最高となった（図表2）。

図表1：就職先の選択基準

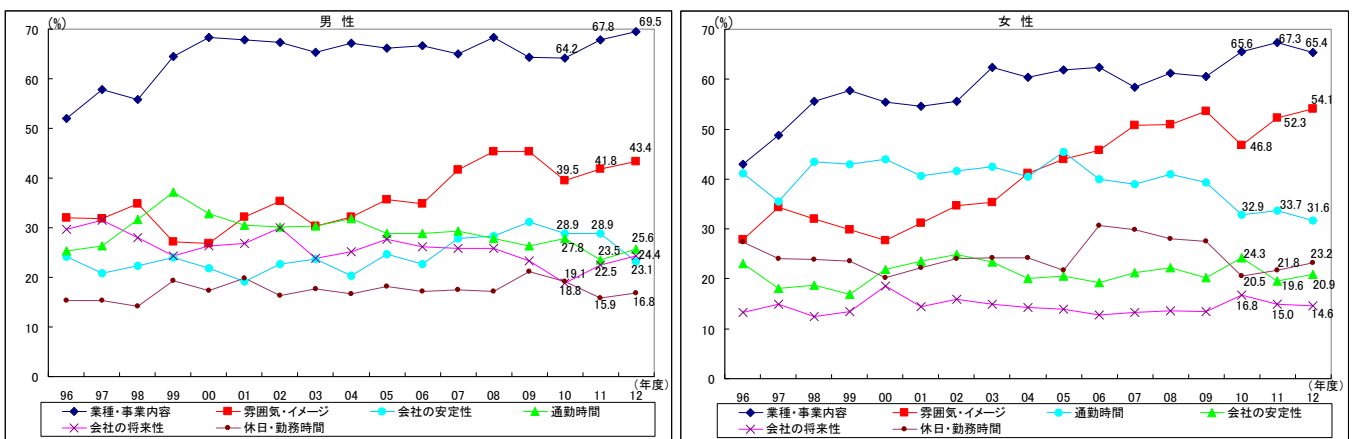
(単位：%、%ポイント)

全 体	1996年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	前年度差
業種・事業内容	46.9	52.8	55.7	60.8	61.3	61.2	61.5	63.8	63.8	64.1	64.5	61.9	65.1	62.5	64.7	67.5	67.6	0.1
雰囲気・イメージ	29.6	33.2	33.3	28.7	27.3	31.7	35.0	32.8	36.6	39.7	40.2	46.0	48.0	49.4	42.8	46.6	48.4	1.8
通勤時間	34.2	31.5	38.2	40.3	38.8	35.6	35.8	36.4	36.1	37.0	34.3	33.8	34.1	32.7	30.1	28.2	28.4	0.2
会社の安定性	23.5	19.3	20.3	20.1	21.9	21.3	23.7	23.6	20.2	22.6	21.0	24.7	25.5	25.8	26.7	24.6	22.1	▲2.5
会社の将来性	20.4	22.2	19.4	18.3	22.1	20.7	23.1	19.4	19.7	20.9	19.6	19.9	20.1	18.5	17.9	19.1	19.9	0.8
休日・勤務時間	22.1	20.2	19.6	21.7	19.0	21.0	20.1	21.0	20.4	19.9	23.8	23.3	22.4	24.3	19.8	18.6	19.8	1.2
親または学校の推薦	24.4	24.3	25.3	20.3	21.0	22.1	19.6	20.0	17.7	16.5	17.6	16.4	15.0	12.8	14.9	13.9	14.9	1.0
給与・ボーナス	15.3	12.5	11.0	9.4	9.5	11.7	11.3	13.9	14.4	10.7	11.8	12.3	12.8	12.1	10.5	11.9	9.9	▲2.0
会社の規模	6.8	7.7	6.4	6.7	7.5	6.8	5.9	7.1	7.3	7.1	8.2	9.5	8.2	7.1	7.1	7.7	6.9	▲0.8
福利厚生	1.9	1.6	0.6	2.2	1.5	2.1	3.9	2.5	3.6	3.2	3.3	4.4	4.6	5.7	6.3	6.6	5.7	▲0.9
他に就職先がなかった	12.5	8.6	9.5	11.1	8.6	7.8	7.1	4.8	6.5	5.0	4.8	4.0	3.3	4.5	7.4	7.5	5.1	▲2.4
会社の知名度	3.6	3.7	2.8	2.2	3.3	3.2	2.3	2.3	2.5	3.2	3.9	3.6	3.8	2.5	2.4	2.6	3.2	0.6
何となく	8.2	8.5	8.8	9.6	7.5	7.0	5.5	5.5	4.4	5.3	4.5	3.9	2.3	3.4	2.2	2.1	1.9	▲0.2
アルバイト先だった	1.0	0.8	2.5	0.7	1.8	1.8	2.3	1.4	1.8	2.6	1.5	1.6	1.0	1.1	1.4	1.5	1.7	0.2
その他	3.8	3.6	3.2	3.7	3.6	3.3	4.2	4.7	4.5	2.6	3.0	3.9	3.4	4.0	3.6	4.0	4.0	0.4

(注1) 網掛けは、各年度において回答率が高かった上位3項目。

(注2) 複数回答のため、回答率の合計は100%を超える。

図表2：就職先の選択基準（全体での上位6項目の男女別推移）



## (2) 将来就きたい地位

### ～ 男性「管理職志向」、女性「スペシャリスト志向」～

「あなたは将来どんな地位に就きたいですか（1つだけ選択）」と尋ねたところ、全体では「肩書きはなくても、特殊能力・技能のある社員（以下：スペシャリスト志向）」（回答率 41.9%）がトップとなった。しかしながら、年々「肩書きのある社員（以下：「管理職志向）」」（同 32.2%）を目指す傾向が強まっている（図表3）。

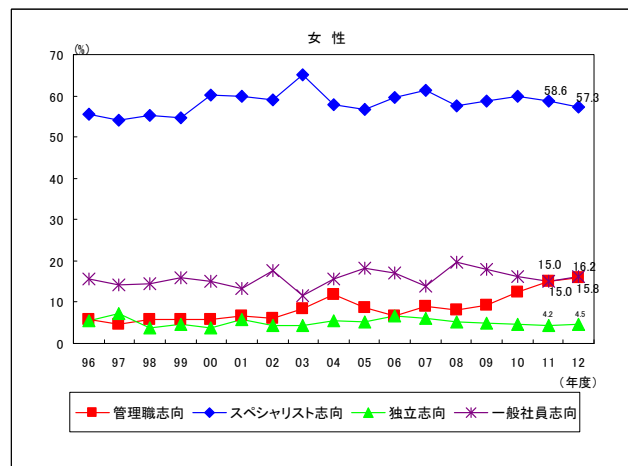
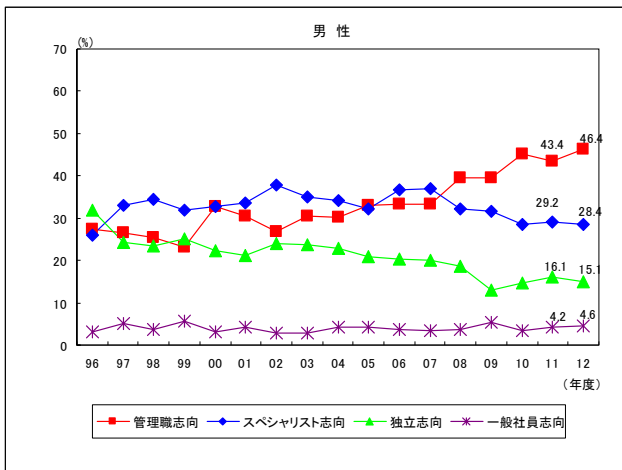
男女別にみると、男性では「管理職志向」（同 46.4%）が再び上昇し過去最高となった。ここ数年で**男性は、企業の中でのキャリアアップを求める傾向**が強まっている。女性は例年と同じく「スペシャリスト志向」（同 57.3%）が圧倒的に強いが、「管理職志向」（同 15.8%）も上昇傾向にあり、**女性でも管理職のポジションを求める意識が強まっている**（図表4）。女性上司が増えている中で具体的なキャリアイメージが描きやすくなっていることも要因であろう。

図表3：将来就きたい地位（全体）

全体	(単位: %、%ポイント)																	2012 年度	前年度 差
	1996 年度	1997 年度	1998 年度	1999 年度	2000 年度	2001 年度	2002 年度	2003 年度	2004 年度	2005 年度	2006 年度	2007 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度			
スペシャリスト志向	42.5	44.9	46.0	44.4	47.7	46.7	48.2	50.2	45.9	44.3	47.9	48.5	44.3	45.0	42.7	42.6	41.9	▲ 0.7	
管理職志向	15.2	14.1	14.5	13.7	18.1	18.6	16.6	19.5	21.2	21.1	20.2	21.8	24.6	24.6	30.4	30.4	32.2	▲ 1.8	
独立志向	17.2	14.6	12.6	13.8	12.2	13.5	14.2	13.8	14.3	13.3	13.6	13.3	12.3	9.0	10.1	10.7	10.2	▲ 0.5	
一般社員志向	10.2	10.2	9.7	11.3	9.5	8.7	10.1	7.2	9.8	11.1	10.1	8.5	11.3	11.4	9.2	9.1	10.0	▲ 0.9	
わからない	13.1	15.1	15.8	15.6	11.4	12.0	9.9	7.4	7.6	9.5	7.7	7.3	7.3	9.3	7.1	6.6	5.6	▲ 1.0	
その他	1.8	1.1	1.4	1.1	1.1	0.6	1.0	1.9	1.2	0.7	0.5	0.5	0.2	0.7	0.5	0.5	0.2	▲ 0.3	

(注) スペシャリスト志向…肩書きはなくても、特殊能力・技能のある社員  
 管理職志向…肩書きのある社員  
 独立志向…社長、あるいは独立して自分の会社・店を持つ  
 一般社員志向…肩書きは知らない

図表4：将来就きたい地位（男女別推移）



### (3) 上司・先輩との人間関係

#### ～ 再び「ほどほど派」が「積極派」を上回る ～

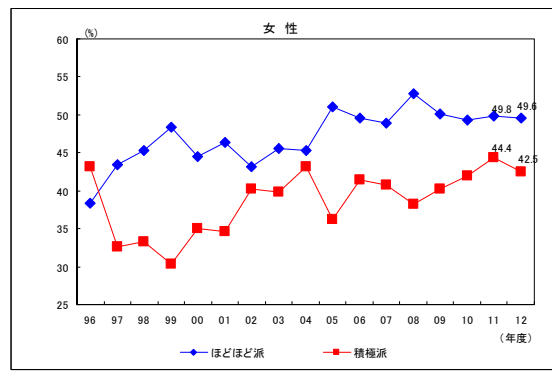
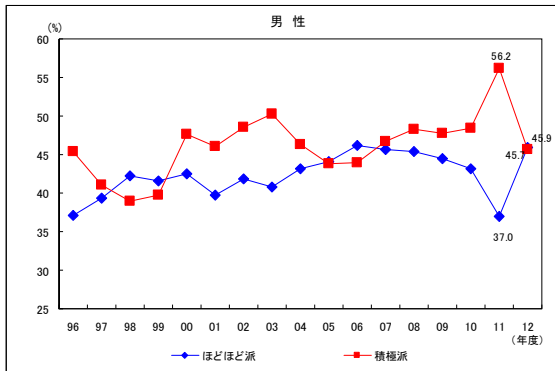
「上司・先輩との人間関係をどのように考えていますか（1つだけ選択）」と尋ねたところ、全体では「義理を欠かない程度（以下：ほどほど派）」（回答率 47.6%）が再び上昇し、2年ぶりにトップとなった（図表5）。

男女別にみると、男性では「公私にわたって積極的に（以下：積極派）」が大きく落ち込み、逆に「ほどほど派」が大きく伸びた。女性では「ほどほど派」がトップで、「積極派」がポイントを下げたことでさらに差が広まった。男女とも、ここ数年増加傾向にあった「積極派」の回答は減少した（図表6）。

図表5：上司・先輩との人間関係

全体	(単位：%、%ポイント)																	前年度差
	1996年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	
義理を欠かない程度に付き合いたい	37.8	41.6	43.9	45.3	43.6	43.0	42.5	43.2	44.3	47.5	47.9	47.2	48.9	47.3	45.9	42.9	47.6	4.7
公私にわたって積極的に付き合いたい	44.2	36.4	35.8	34.6	40.7	40.3	44.4	44.9	44.7	40.0	42.7	43.9	43.5	44.0	45.5	50.8	44.2	▲ 6.6
わからない	11.1	14.8	13.2	12.1	9.5	12.0	8.4	6.6	6.8	8.0	5.2	4.8	3.5	4.0	4.2	3.8	4.3	0.5
仕事以外はなるべく付き合いたくない	6.0	6.1	5.8	6.2	5.6	3.7	4.2	4.3	3.3	4.1	4.0	4.0	3.7	4.1	3.8	2.1	3.6	1.5
その他	0.9	1.1	1.3	1.8	0.6	0.9	0.5	0.9	0.9	0.3	0.3	0.2	0.3	0.6	0.5	0.4	0.3	▲ 0.1

図表6：上司・先輩との人間関係（男女別推移）



#### (4) 入社の際の不安

～男性は「業界知識・業務内容」、女性は「上司・先輩との人間関係」がトップに～

「入社にあたって不安に思うことは何ですか（3つまで選択）」と尋ねたところ、全体では、「業界知識・業務内容」（回答率58.0%）、「上司・先輩との人間関係」（同56.9%）が1位、2位であった。上位2項目の回答が減少する一方で、「社会人としてのマナー」（同43.5%）や「社会常識」（同34.6%）を不安に思うとする回答が増加した（図表7）。

男女別にみても、順位は入れ替わっているが、この2つの項目が上位を占めている。3位以下についてもほぼ例年通りの結果となっている（図表8）。

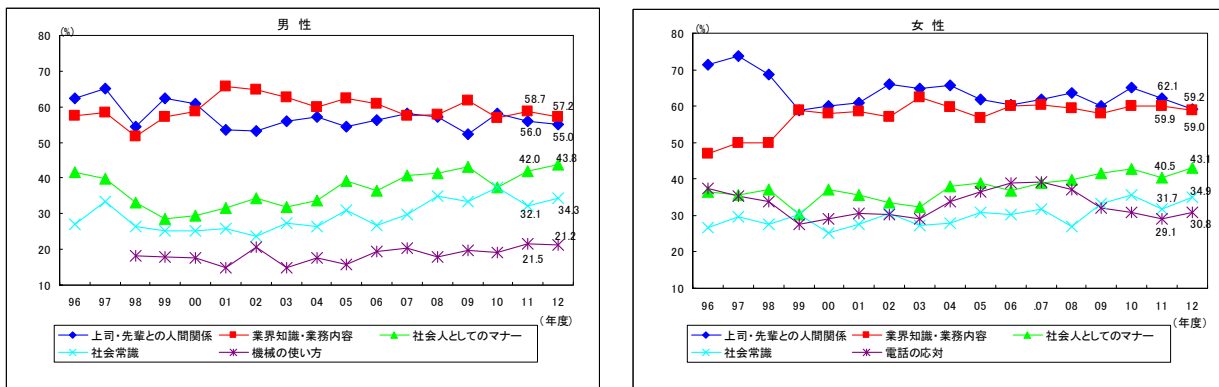
図表7：入社の際の不安（全体）

(単位: %、%ポイント)

全体	1996年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	前年度差
業界知識・業務内容	51.6	53.7	50.7	58.1	58.3	62.1	61.0	62.6	59.7	59.6	60.4	58.9	58.8	59.9	58.2	59.2	58.0	▲1.2
上司・先輩との人間関係	67.5	69.9	62.3	60.5	60.4	57.2	59.5	60.3	61.5	58.0	58.2	59.8	60.7	56.1	61.4	58.8	56.9	▲1.9
社会人としてのマナー	38.8	37.3	35.3	29.6	33.7	33.5	33.9	32.0	35.9	39.1	36.7	39.9	41.0	42.4	39.8	41.3	43.5	2.2
社会常識	26.8	31.3	27.1	27.9	25.3	26.7	27.1	27.3	27.1	31.0	28.5	30.8	31.3	33.4	36.4	31.9	34.6	2.7
電話の応対	25.4	24.3	23.7	19.5	20.1	22.5	22.1	22.3	25.9	28.4	29.3	28.4	29.1	26.4	24.0	22.3	23.4	1.1
機械の使い方	-	-	11.6	12.8	11.9	12.3	15.1	12.2	13.2	12.5	14.1	15.5	13.6	14.5	15.5	15.7	16.2	0.5
規則的な生活	13.7	17.4	14.5	14.4	16.0	16.6	14.6	16.7	13.8	13.2	13.5	13.2	15.5	12.0	14.5	17.2	14.0	▲3.2
健康	-	-	10.5	15.5	15.1	17.8	17.2	17.8	13.7	11.9	11.2	12.8	10.5	12.0	10.5	8.9	9.8	0.9
同僚との人間関係	16.6	15.0	20.0	13.8	13.8	13.6	12.2	11.8	11.5	12.8	15.2	12.3	13.8	13.4	10.3	11.5	12.1	0.6
OA機器の使い方	9.3	11.0	7.7	10.0	9.5	7.6	7.4	5.4	5.9	5.1	5.6	5.9	4.0	3.8	3.5	3.2	2.6	▲0.6
その他	2.9	2.4	2.3	2.7	2.3	2.0	1.9	2.2	2.6	1.6	1.7	1.3	1.3	1.4	0.7	2.6	1.1	▲1.5

(注1) 複数回答のため、回答率の合計は100%を超える。

図表8：入社の際の不安（男女別上位5項目推移）



## (5) 初給与の使い道

### ～「家族に感謝」が5年連続のトップ～

「初給与は、どのように使いますか（2つまで選択）」と尋ねたところ、「家族に贈り物をしたり、食事をごちそうする（以下：家族に感謝）」が5年連続のトップ（回答率 54.8%）となった（図表9）。厳しい雇用環境が続く中、就職まで支えてくれた家族への感謝の気持ちは強いものとみられる。

2位の「預金する」（同 46.1%）が増加したところからは、将来がなかなか見通せない状況が続いている中で不安な心理もみてとれる。

図表9：初給与の使い道

（単位：％、％ポイント）

全体	1996年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	前年度差
家族に贈り物をしたり、食事をごちそうする	30.3	30.7	39.2	36.7	40.5	38.5	45.6	44.8	45.5	47.9	48.1	49.4	51.4	50.1	57.4	55.6	54.8	▲0.8
預金する	49.8	46.2	50.8	51.7	49.0	48.8	45.0	46.1	44.4	47.0	46.6	51.4	49.4	47.3	49.1	45.1	46.1	1.0
自分の物を買う	31.9	31.9	30.9	32.2	31.7	32.3	34.1	35.2	30.6	26.7	28.1	23.2	25.0	20.3	21.6	22.4	23.7	1.3
生活費に使う	16.2	20.5	21.2	18.0	17.8	22.3	20.6	21.4	20.8	19.3	23.3	21.6	22.3	23.5	21.2	22.9	21.2	▲1.7
お世話になった人に贈り物をしたり、食事をごちそうする	15.4	13.4	12.9	13.1	12.3	13.6	14.5	12.4	13.6	14.2	14.9	14.8	14.0	15.8	13.6	15.6	13.9	▲1.7
友達との交際費に使う	14.0	14.0	13.8	12.5	12.0	10.2	9.4	9.7	9.9	11.1	10.5	8.3	8.6	9.3	6.0	7.2	6.4	▲0.8
旅行・レジャーに使う	6.8	5.2	4.7	3.7	2.5	2.4	2.3	2.0	2.8	2.4	2.9	2.5	1.9	2.3	1.3	2.3	1.9	▲0.4
考えていない	6.1	6.6	5.9	7.3	8.2	6.7	5.5	5.5	6.1	5.6	3.7	4.8	3.7	5.8	5.8	4.3	5.3	1.0
その他	4.6	4.4	3.4	3.8	2.8	2.4	3.1	2.9	3.1	2.4	1.2	2.3	1.9	1.7	1.5	2.3	1.9	▲0.4

（注1）複数回答のため、回答率の合計は100%を超える。

## (6) まとめ

厳しい景気動向や雇用情勢が続いているからか、特に男性において、就職した企業での安定したキャリアアップを望む傾向がわずかながら強まった。また、成長の過程であまり厳しく接する大人が少なくなっているからか、家庭や学校生活の中で身につけるべき、社会常識や社会人としてのマナーに対する不安も強まっている。

今回の調査でも、ここ数年と同様「**堅実で、自分自身に合った働き方**」を求める新入社員像が浮かび上がった。

以上